

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公表番号】特表2009-534220(P2009-534220A)

【公表日】平成21年9月24日(2009.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2009-038

【出願番号】特願2009-506509(P2009-506509)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/385 (2006.01)

B 4 1 M 5/388 (2006.01)

B 4 1 M 5/39 (2006.01)

B 4 1 M 5/382 (2006.01)

B 4 1 M 5/40 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/26 1 0 1 K

B 4 1 M 5/26 1 0 1 G

B 4 1 M 5/26 1 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月9日(2010.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

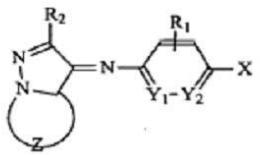
【請求項1】

1つの面に色素層と第2の面に滑性層とを有する支持体を含む感熱色素転写のための色素供与体要素であって、

前記滑性層がポリオレフィンおよびエチレン性不飽和カルボン酸またはそのエステルもしくは無水物から誘導されたポリマーを含む第1のワックスおよび少なくとも1つの他のワックスを含み、前記色素層が、少なくとも次の構造式Iのマゼンタ色素を含み、

前記色素供与体要素が、減少した2X再転写を有することを特徴とする色素供与体要素。

【化1】



(上記式中、Xは、NR₃R₄基またはヒドロキシル基であり、R₃およびR₄は同じものまたは異なるものであってよく、独立に、アルキル基、アルケニル基、アリール基、アラルキル基、またはシクロアルキル基から選択され；Y₁およびY₂は、それぞれ独立に、Y₁およびY₂の1つが窒素原子であることを条件として、炭素原子または窒素原子から選択され；Zは、別の環と縮合していてもよい5員または6員の窒素含有複素環を形成するために必要な原子団であり；R₁およびR₂は、それぞれ独立に、水素原子、ハロゲン原子、アルキル基、アルケニル基、アルコキシ基、アルキルアミノ基、アセトアミド基、スルホニアミド基、アリール基、アラルキル基、またはシクロアルキル基から選択さ

れる。)

【請求項 2】

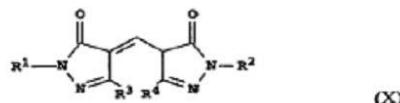
請求項 1 に記載の色素供与体要素であって、前記色素供与体要素が、少なくとも 1 つのビスピラゾロンメチレン色素および少なくとも 1 つのその他のピラゾロンメチレン色素を含むイエローの色素供与体パッチならびに少なくとも 1 つのインドアニリンシアン色素を含むシアン色素供与体パッチをさらに含むことを特徴とする色素供与体要素。

【請求項 3】

1 つの面に色素層と第 2 の面に滑性層とを有する支持体を含む感熱色素転写のための色素供与体要素であって、滑性層がポリオレフィンおよびエチレン性不飽和カルボン酸またはそのエステルもしくは無水物から誘導されたポリマーを含む第 1 のワックスおよび少なくとも 1 つのその他のワックスを含み、

前記色素層が、少なくとも次の構造式 X のイエロー色素：

【化 2】

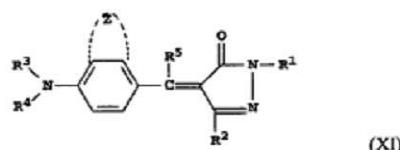


(上記式中、R¹ および R² は、それぞれ独立に選択することができ、置換されていてもよい低級アルキル基、置換されていてもよい低級アルケニル基または置換されていてもよいアリール基であり；

R³ および R⁴ は、それぞれ独立に選択することができ、置換されていてもよい低級アルキル基、ジアルキルアミノ基、-COOR⁵ 基または-CO-NR⁶-R⁷ 基であって、ここで R⁵ は、置換されていてもよい低級アルキル基、置換されていてもよい低級アルケニル基または置換されていてもよいアリール基であり、R⁶ および R⁷ は、それぞれ独立に選択することができ、水素原子、置換されていてもよい低級アルキル基、置換されていてもよい低級アルケニル基または置換されていてもよいアリール基である。)

または、少なくとも次の構造式 XI のイエロー色素：

【化 3】



(上記式中、R¹ は、1 ~ 10 個の炭素原子を有する置換または非置換アルキル基、5 ~ 7 個の炭素原子を有するシクロアルキル基または 6 ~ 10 個の炭素原子を有するアリール基を表し；

R² は、1 ~ 10 個の炭素原子を有する置換または非置換アルコキシ基、6 ~ 10 個の炭素原子を有する置換または非置換アリールオキシ基、NHR⁶、NR⁶R⁷ またはベンゼン環に縮合している 6 員環を完成するのに必要な原子を表し；

R³ および R⁴ は、それぞれ R¹ を表すか、R³ および R⁴ は、それらが結合している窒素と一緒にになって 5 員または 6 員の複素環を形成することができ；

R⁵ は、水素、ハロゲン、カルバモイル、アルコキシカルボニル、アシリル、1 ~ 10 個の炭素原子を有する置換または非置換アルキルまたはアルコキシ基、5 ~ 7 個の炭素原子を有するシクロアルキル基、6 ~ 10 個の炭素原子を有するアリール基、あるいはジアルキルアミノ基を表し；

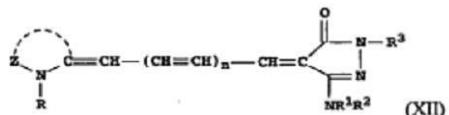
R⁶ および R⁷ は、それぞれ独立に、1 ~ 10 個の炭素原子を有する置換または非置換アルキル基、5 ~ 7 個の炭素原子を有するシクロアルキル基または 6 ~ 10 個の炭素原子を有するアリール基を表し、R⁶ および R⁷ は、それらが結合している窒素と一緒にになっ

て 5 員または 6 員の複素環を形成することができ；

Z は、水素または 5 員または 6 員の環を完成するために必要な原子を表す。)

または、少なくとも次の構造式 X I I のイエロー色素：

【化 4】



(上記式中、

R は、1 ~ 6 個の炭素原子を有する置換または非置換アルキル基または 6 ~ 10 個の炭素原子を有する置換または非置換アリール基を表し；

R¹ および R² は、それぞれ独立に、R¹ および R² の 1 つだけがそのとき水素であることを条件としての水素、1 ~ 6 個の炭素原子の置換または非置換アルキル基または 6 ~ 10 個の炭素原子の置換または非置換アリール基を表し、あるいは R¹ および R² は、それらが結合している窒素と一緒にになって複素環系を形成してもよく；

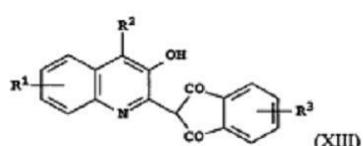
R³ は、R であり；

n は、0 または 1 を表し；

Z は、5 員または 6 員の置換または非置換複素環を完成するために必要な原子を表す。)

または、少なくとも次の構造式 X I I I のイエロー色素：

【化 5】



(上記式中、

R¹ は、1 ~ 8 個の炭素原子を有するアルキル基またはシクロアルキル基であり；

R² は、水素原子、ハロゲン原子、置換されていてもよいアルコキシ基、置換されていてもよいアルキルチオ基または置換されていてもよいアリールチオ基であり；

R³ は、3 ~ 5 個の炭素原子を有する分枝アルキル基、O - 置換オキシカルボニル基、N - 置換基が環を形成していてもよいN - 置換アミノカルボニル基、または窒素原子、酸素原子および硫黄原子からなる群から選択される 1 種類以上の 2 個以上のヘテロ原子を有する置換または非置換複素環である。)

を含み、前記色素供与体要素が、減少した 2 × 再転写を有することを特徴とする色素供与体要素。

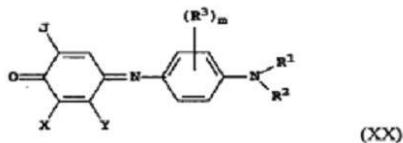
【請求項 4】

請求項 3 に記載の要素であって、少なくとも 1 つのピラゾロン - トリアゾール色素および少なくとも 1 つの - シアノアリーリデンピラゾロン色素を含むマゼンタ色素供与体パッチならびに少なくとも 1 つのインドアニリンシアン色素を含むシアノ色素供与体パッチをさらに含むことを特徴とする要素。

【請求項 5】

1 つの面に色素層と第 2 の面に滑性層とを有する支持体を含む感熱色素転写のための色素供与体要素であって、滑性層がポリオレフィンおよびエチレン性不飽和カルボン酸またはそのエステルもしくは無水物から誘導されたポリマーを含む第 1 のワックスならびに少なくとも 1 つの他のワックスを含み、前記色素層が、少なくとも次の構造 X X のシアノ色素を含み、色素供与体要素が、減少した 2 × 再転写を有することを特徴とする色素供与体要素。

【化6】



(上記式中、

R^1 および R^2 は、それぞれ独立に、水素、1～6個の炭素原子を有するアルキル基、5～7個の炭素原子を有するシクロアルキル基、アリル基、または1つ以上の基により置換されている前記アルキル基、シクロアルキル基またはアリル基を表し；

各 R^3 は、独立に、水素、 R^1 および R^2 について上記の通りの置換または非置換アルキル、シクロアルキルもしくはアリル、アルコキシ、アリールオキシ、ハロゲン、チオシアノ、アシルアミド、ウレイド、アルキルスルホニアミド、アリールスルホニアミド、アルキルチオ、アリールチオまたはトリフルオロメチルを表し、あるいは R^3 の任意の2つは、一緒になって5員または6員の環状炭素または複素環を形成していてもよく、あるいは R^3 の1つまたは2つが R^1 および R^2 のいずれかまたは両方と結合して5～7員環を完成していてもよく；

m は、0～4の整数であり；

X は、水素、ハロゲンを表すか、 Y と一緒にになって6員の芳香環を完成するために必要な原子を表して、縮合二環式キノンイミンを形成することができ；

J は、 $NHCOR^4$ 、 $NHCO_2R^4$ 、 $NHCONHR^4$ または $NHSO_2R^4$ を表し、 X が Y と結合している場合、 J は、 $CONHR^4$ 、 SO_2NHR^4 、 CN 、 SO_2R^4 または SCN を表すことを条件として、その場合はしかしながら R^4 は水素ではあり得ず；

R^4 は R^1 と同じであるか、6～10個の炭素原子を有するアリール基、5～10個の原子を有するヘタリール基、または R^1 および R^2 に対して上で掲げたような1つ以上の基により置換されている前記アリール基またはヘタリール基を表し；

Y は、 R^4 と同じであるか、アシルアミノであり、あるいは X と結合していてよい。

)

【請求項6】

請求項5に記載の要素であって、前記色素供与体要素が、少なくとも1つのビスピラゾロンメチン色素および少なくとも1つのその他のピラゾロンメチン色素を含むイエローの色素供与体パッチならびに少なくとも1つのピラゾロン-トリアゾール色素および少なくとも1つの-シアノアリーリデンピラゾロン色素を含むマゼンタ色素供与体パッチをさらに含むことを特徴とする要素。